第 8 章　計画の達成状況の評価

８－１．進歩管理と評価

（１）PDCA サイクルによる評価方法

本計画は、設定した目標の達成状況に応じて、計画の進捗状況を管理していきます。

そのために、継続的に取組みを実施していく（ Do ）と同時に、その取り組み結果を具体的に把握・評価していきます（ Check ）。さらに、課題が見つかれば見直しを検討・調整し（ Action ）、新たな取り組みの計画を立案する（ Plan ）という「 PDCA 」サイクルに基づき、達成状況の評価を進めていきます。

なお、地域公共交通を取り巻く環境の変化を踏まえ、適宜見直しを行い、計画最終年度において最終評価を実施するとともに、次期計画策定に向け検討を進めていきます。

表 7-1　ＰＤＣＡサイクルのイメージ

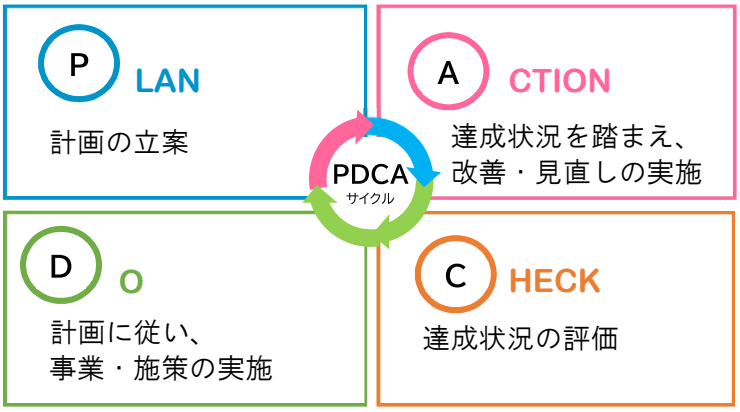

表 7-2　地域公共交通におけるＰＤＣＡの実施サイクル

	各年度											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域公共交通会議			①							②		
実施すること						次年度予算要求				事業評価		
	P 前年度実施事業見直し・必要に応じ計画改定			P 次年度計画の具体化						A 次年度実施事業見直し・改善の検討		
		C モニタリングの実施					C 評価の実施					
	D 事業の実施											

（２）事業スケジュール

前章で設定した計画の目標達成に向け取り組んでいく実施事業について、以下のスケジュールで進めていきます。また、社会情勢や地域の状況等を見据えながら、必要に応じて計画の見直しを図っていきます。

事業計画	実施主体	事業期間				
		R6	R7	R8	R9	R10
目標１　安全安心で持続可能な地域公共交通の形成						
①つなぎタクシーの運行維持・改善	津奈木町 交通事業者	調査	検討	実施		
②地域公共交通の連携促進	津奈木町 交通事業者	検討・実施				
目標２　まちづくりと連携した活力ある公共交通の実現						
①町内イベントにおける公共交通の利用促進	津奈木町 交通事業者 関係事業者	随時計画・実施				
②公共施設と連携した利用促進	津奈木町 交通事業者	計画・実施				
③つなぎタクシーの町外利用の検討及び手続きの簡素化	津奈木町 交通事業者	検討・計画		実施		
目標３　分かりやすく魅力的なサービスの提供と利用促進						
①情報ツールを活用した運行情報の提供	津奈木町	検討・実施				
②分かりやすい公共交通マップの作成	津奈木町 交通事業者	検討・準備		実施		
③運転免許証自主返納支援や通学送迎の利用機会の創出	津奈木町 交通事業者	検討	実施			
④アンケート調査による状況把握	津奈木町				準備	実施

８－２．計画の推進体制

本計画の推進体制は、法定協議会である「津奈木町地域公共交通会議」がマネジメント主体として、計画の推進及び施策・事業の進捗状況等の確認を行います。

一方で、計画を推進し、目指す将来像の実現や目標達成にあたっては、交通事業者や地域住民（町民・企業）、行政と連携することが重要であることから、協働のもと取り組んでいきます。

なお、事業実施にあたっては、庁内関係部署や周辺市町などと連携を図りながら推進します。

表 7-2　津奈木町の地域公共交通における推進体制・役割分担

事業主体	役割
津奈木町	・地域、交通事業者と密接した連絡調整 ・地域公共交通施策の調整や実施 ・交通事業者の交通サービス提供に対する支援
交通事業者	・利用ニーズに沿う質の高い交通サービスや情報の提供 ・地域公共交通のあり方の検討への積極的な参加と提案
利用者・地域住民等	・公共交通機関の積極的利用 ・情報発信などの積極的な啓発活動の実施 ・地域公共交通の担い手として主体的に関与
熊本県	・町への情報提供や財政支援 ・広域的な調整や助言
国（運輸支局）	・制度や支援の措置の充実 ・行政や交通事業者の人材育成 ・先進事例の情報提供